

富士市ユニバーサル就労支援センター（静岡県）

全国初のユニバーサル就労の推進条例を制定し、 多様な関係者とともに就労支援を推進



1. 基本情報

①自治体・団体名	富士市ユニバーサル就労支援センター
②住所等	〒416-8558 富士市本市場 432-1 フィランセ東館 1 階 https://f-uw.com/
③圏域の人口、高齢化率	人口：24.8 万人 高齢化率：27.6%
④生活困窮者自立支援法に基づく事業の実施状況	自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業（株式会社東海シグマと富士市社協の共同事業体）
⑤主な事業・活動（④以外）	ひきこもり相談 出張相談会やキャリアアップセミナーの開催 就労困難者に対する就労支援、協力企業の開拓（就労支援グループ） ユニバーサル就労周知・啓発事業（就労支援グループ） 等

2. 取り組みの経緯・背景

ユニバーサル就労支援センターの歩み

- 平成 26 年に市民団体が 1 万 9 千名余の署名を集め、障害者（児）が働くことに困らないように障害者雇用積極的に企業の誘致、支援を要望。平成 28 年に副市長をトップとする検討委員会を設置して調査・検討し事業を開始。平成 29 年には市議会発議により、「富士市ユニバーサル就労の推進に関する条例」を全国で初めて施行した。
- 事業開始時は相談機能がなく、他機関から相談がつながる仕組みとなっていたが、令和 2 年 4 月に様々な支援窓口を再編し、就労や生活などあらゆる相談に応じる相談支援グループ（自立相談支援事業とユニバーサル就労の相談窓口として東海道シグマと富士市社協が協働で実施）とユニバーサル就労の推進を行う就労支援グループ（東海道シグマが実施）を一体的に運営する新たなユニバーサル就労支援センター（以下、「支援センター」）となった。
- 支援センターを再編し、生活の困りごとから就労のことまで相談窓口を一本化したことにより、市民がすぐに必要とする支援につながる仕組みになり、各支援機関間で“たらい回し”にならないような支援が可能となった。

3. 取り組み概要・実施体制

- ・ 支援センターでは、「働きたくても働くことができないすべての富士市民が働けるまちにすること」を目標に、就労支援を行っている。
- ・ ユニバーサル就労の対象者は、就労ブランクが長い方や病気で働き方に制約がある方、長時間労働が難しい方、障害者手帳の有無にかかわらず何らかの障害が疑われる方、子育て中や家族の介護中の方など幅広く設定している。
- ・ 初回相談では、本人の主訴を丁寧に聞き取って“苦手なこと”や“得意なこと”をアセスメントし、具体的な支援計画を策定し、職場見学や就労体験の際には、事前に本人が抱える働きづらさを企業に伝えている。
- ・ 一日数時間の就労体験をした後、「継続して通えるか不安」「何時間、何日通えるかわからない」という方への支援として、最大5日間の就労体験を行う“通勤ター”という形態でさらに就労経験を積む仕組みもある。通勤ターとして活動するにあたっては、本人と企業の担当者、支援員が三者で面談しながら次のステップにつなげている。
- ・ 企業からは、「どんな仕事をお願いしたらいいのかわからない」「会社のなかでどう理解してもらったらいいか」といった声を聞くことが多いため、業務の切り出しを提案したり、社内の経営層への説明に支援員が赴いている。
- ・ 就労支援を進めるうえで、多機関との連携や地域づくりも大事にしている。例えば、地域包括支援センターや民生委員・児童委員の会議で事業説明を行い、ひきこもりの人等の情報を提供してもらったり、支援を行ううえでも連携をしている。また、富士市社協のコミュニティソーシャルワーカーとは月1回顔を合わせる機会を持ち、複合的な課題を抱える世帯等について情報を共有して早期の支援に務めている。
- ・ フードバンクや市内企業、市民からの食料提供を受けて、相談者への食料支援も行っている。
- ・ 市役所の庁内連携も積極的に進めており、生活支援課や市民課、こども家庭課など福祉関係部署だけでなく、住宅政策課や収納課、上下水道営業課など幅広い関係課から支援センターに対して相談が繋がっている。

4. 成果や課題、今後の展開

- ・ ユニバーサル就労の取り組みを通じて、令和3年度末時点の利用申込者570名のうち、337名(59.1%)が就労決定した。
- ・ ユニバーサル就労について企業の理解を得るための説明会をこれまで35回開催しており、認定協力企業は令和3年度末時点で187社にのぼっている。
- ・ 支援を通じて本人がどんどん変わっていく姿を見ることができるところが就労準備支援事業の一番の面白さだと感じている。今後も、その人のこれまでの人生をしっかりと聞き、一人ひとりに合った支援をしていきたい。